

AA日本ニューズレター

私書箱
 100-91
 東京都中央郵便局
 私書箱 916



AA 日本ゼネラル・サービス・オフィス内 広報委員会
 TEL03-590-5377 171 東京都豊島区池袋 2-23-3 橋ビル 9F



No.17

< 特別寄稿 >

— 外から見たAA —

城北福祉センター 宮下 忠子

“手配師の 酒におぼれて 冬飯場”

野田 利光作

野田さんは、今年の春に数ヶ月の闘病の末に他界しました。貧しさ故に教育も満足に受けられず、山谷に来ての日雇い仕事。酒を覚え、体を悪くしていきました。人生のやり直しと考え、都営住宅に入居し、仕事をしながらの闘病生活。その甲斐もなく50代での早死にです。野田さんに似たような死は、もっと悲惨な形をふんで続いているのが現状です。

凍て死にの 見果し夢を 追いあぐね

みとられぬ 人の死も聞き 寒明ける

青木 清作

このような死が続く街中の状況に多くの説明はいらないでしょう。路上の酒ビンの散乱、大木のように倒れている泥酔者、底知れぬ貧しさと暗部、どこから手助けできるのか分からぬくらい問題の多い地域です。

アルコール依存症者がこのような状況の街でどん底に落ち、病院に入院し、施設につながりAA（アルコールホーリクス・アノニマス）に参加し更生への道を歩み始めたときは感動しました。最初は、本人の意志の力かな、とも思ったものです。しかし、それだけではないことがより確かなこととして分かってきたのは、山谷マック（メリノール・アルコール・センター）の回復者をこの目で見ることが多くなってきてからです。オープン・スピーカーズ・セミナーに何回も参加し、そこに回復者の話を聞くことが出来ました。路上で生きること、死ぬこともできずアルコールの病に倒れていた人が、目前でしっかりとした口調で自分のことを語り続けています。酒をやめたいという願望。とにかく飲まないで他の同じ悩みを持った人と共に生きること。同じともいえる体験をした、似た体質を持った他人との出会い。孤独は薄らいでいくようです。

山谷地域で日雇労働をする人々のほとんどは単身

者です。寂しさをまぎらわすための一杯の酒が、病いにつながってしまうのです。酒の力を借りなければ声を出すことのできなかつた人々が、AAの12のステップや12の伝統によって、寂しい感情から脱却することができ、大きな力によって、また自分を理解してくれる神によって回復へとつながっていきます。無名（アノニマス）は、彼らが最も望むところであり、そこに仲間との中での大きな力を感じているのではないのでしょうか。

たくさんの回復者を知り、反面、失敗を繰り返し死んでいった人も多く知りました。これまでに一番気になったのが、アルコール依存症から回復が始まってからのことです。仕事一つをとっても、酒をやめながら働いて生きていける場をどのようにして探すかということです。周囲の人びとの理解も必要です。また、断酒後の後遺症をどのように克服していくかも、医療、福祉関係の理解と援助を必要とします。酒の氾濫は新たな苦しみをもち人々の増加を意味します。AAグループの広がり願ってやみません。



1989年 AAスローガン

「生きたサービス。それは、愛のおくりもの」

成 功 さ せ よ う !

第 1 回 ゼ ネ ラ ル

サ ー ビ ス ・ ミ ー テ ィ ン グ

全国評議会推進実行委員長 林

アルコールクス・アノニマスのサービス体系の心臓部が「全国評議会」であることが私たちに示されたのは、一昨年に神宮の森の日本青年館で開かれた第1回サービス・フォーラムであった。

翌年初頭、全国評議会推進実行委員会の関東地域委員6名が選挙され、越生、北海道、長崎、鎌倉で懇談会を行い、それをもとに全国評議会設立の可能性について検討して参りました。

その結果、私たちが予め設定した、7地域のすべてに於て、地域評議員が選出されることは無理と考え、オブザーバーとして出席の地域があっても成立するゼネラル・サービス・ミーティングを10月8、9、10日に開くことを計画したわけでありませう。

7月25日に終了した指宿ラウンドアップでは、すでに九州地域評議員2名、7月31日の関東代議員集会では関東地域評議員6名が選出され、甲信越地域では2名のうち1名が選ばれている。他の5地域でも8月20日をメドに選出へ向けて動き出しているようである。

関東サービス常任委員会が全国の代行機構である使命は本年をもって終了することがすでに決定してい

て、それを延長することは、AAの広がり全国の広範囲にわたった今となつては、もはや不可能である。

全国AAの運営が空白期間を迎えることを避けるため、一致してこの第1回ゼネラル・サービス・ミーティング開催を実現しよう。

このミーティングで討論し、方針を決め、実行に向けて行動しなければならないことは多くある。専門家との対応や、BOX916、日本ニューズレターの全国運営化、ビッグブック個人の物語の増補改訂、JSOの積極運営やマスメディア取材へのスピーディーな対応、このミーティングそのものの今後の運営、グループ、地域、オフィス内のネットワークなどである。

来年3月に大阪で開かれるAA15周年は、AAの外に対して、AAが社会資源として十分役立つことを知ってもらふ機会である。それまでに中身が充実し、豊かになっていくスタートを切っていることが是非とも望まれているわけである。

+ + + + + + + + + +

関東甲信越地域代議員集会 [7月30日(日) 1:30~5:00PM] にて関東地域全国評議員6名選出

片平、鈴木、高橋、比留間、美松、山宮

オフィス常任幹事として 林氏 8月から JSO 常勤

JSO 山本

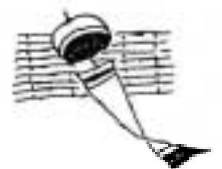
これまでJSOでは、常勤スタッフ3名が数多くのボランティア・メンバーの応援を受けて日常業務を行ってききましたが、実はこの日常業務の他にJSOとしてやっていかなければならない仕事は山ほどあります。3名のスタッフだけではとても手の及ばなかったその重要な業務を担当するため、今まで関東サービス常任委員長を勤めていた林が8月1日づけでJSOに常勤となりました。

具体的には、全国の各関係機関にAAを知っていただくことと、全国各地のAAグループを支援していくことが、その主な業務となります。林の参加により、各地の関係者の方々や全国津々浦々のメンバーとJSOとのつながりがより密接になり、JSOがより健全な成長を遂げていくものと思われませう。

林は、ワールドサービス評議員の4年の任期を終え、現在はAA15周年運営委員長、全国評議会推進実行

AA

日本15周年
記念集会だより



参加券(4,000円)発売開始

西日本の仲間はKCO(関西セントラル・オフィス)にて

東日本の仲間はJSOにて発売しております。

ぜひ、お早目にお買い求め下さい。

15周年ポスター1部100円にて発売中

KCO, JSOにてどうぞ。

特別献金は、目標額100万円に対して、7月30日現在、82万6千円集っております。あとわずかですが、引き続き特別献金をお願いします。

委員長として、積極的に全国各地のAAグループや関係者を訪問し、非常に精力的な活動を続けてきました。今、ますます油が乗ってAAの全国的活動に情熱を傾けています。JSOの8月からの新体制をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

89九州地域 ラウンドアップ IN 指宿

7月23日(日)～25(火)

緑と太陽の国—南国鹿児島に夏が来ました。まるで甲子園に集まる球児たちのように、「新たな出会い」を求めて仲間や我々の友人や理解者が、次から次に尋ねて来てくれました。

4年前「来年は九州の中間地点でキャンプでもどうか？」との提案が、関東の感動を九州の仲間にも何とか分かち与えたいという思いに凝縮してラウンドアップという名称に変わっていきました。

最初は、まだグループが誕生したばかりの熊本の阿蘇山麓で開催。分からないながらも、ただ九州の仲間たちが知恵と汗と時間を提供してくれました。

2回目が長崎の雲仙。そして今回が指宿。

お陰さまで、3日間共すばらしい天気にも恵まれました。(その直後に台風襲われ多大の被害を受けました)

飛行機で、列車で、中には関東からバイクで駆けつけて下さった関係者や、ボンゴ車に寝泊まりしながらも「今年も、来たヨ」と気楽に出かけて来てくれた仲間の集団もありました。仲間ってイイな～と熱いものが胸を打ちます。(案外九州には引き付ける魅力があるのかな?)

セレモニーでは、各地の仲間と関係者の飾らない普段着のメッセージを戴きました。初めて参加した人たちにもAAの姿が理解されたように思います。

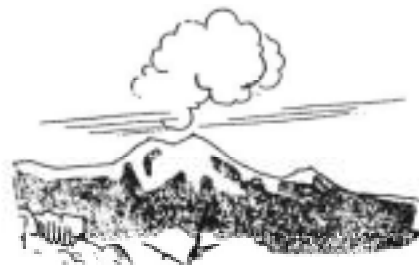
最初の夜から話の輪がいくつもできていました。この時とばかりに、全国のミーティング場巡りをする者。福祉及び保健所の関係者と《まだ苦しんでいるアルコール依存症者》について、お互いに熱心に語っている者。去年の借金を何とか取り返そうと徹夜でマージャンをしている者。AAのかもし出す自由の中で、さまざまな仲間の姿を見ることができました。

2日目は午前中にオープンミーティングを行い、午後から観光とレクリエーションとパブリックミーティングを同時に開催しました。

観光に出掛けられた方には、南国の白魚と人情と味を楽しんでもらえたのではないかと思います。池田湖で日本一の鰻を見物されて、その夜眠れなかった方もおられたとか。(怪獣イシューが現れたら、さぞかし1週間は眠れなかったのではないかと?)長崎県では、日本にも綺麗な海岸線があることで安心された方もおられました。

灸天下の中でソフトボールの球を懸命に追い駆ける仲間の姿には、若さと情熱を、そしてスイカ割りに興じる子供たちと老若男女には、ほほえましさと幼児性?を感じさせてもらいました。

パブリックミーティングでは、3名の医療者に「私とアルコール医療」というテーマで語って戴きました。



竹元隆洋先生には、20年程前のアルコール医療と現在の医療の変遷及び鹿児島に於ける断酒会誕生の経過を体験を通して語って戴きました。

森口進先生には、入院治療は建築に例えればあくまで基礎工事であり、本工事は退院後のAA参加であり、治療には動機づけ 自己変革 AAの勉強の3つの目標を掲げておられることを。

西脇健三郎先生には、地域の中での社会資源としての病院と自助グループのあり方について、自分の病院をモデルに語って戴きました。

質疑応答の時間にも、医療参加者や福祉関係者及び家族の方々から生々しい質問が出され、3名の先生方にいろいろと答えて戴きました。(何らかの形で、メンバーには内容を伝えたいと思っています)

ラウンドを機会に各グループから2名参加してもらい、九州地域の問題を話し合うと共に地域評議員の選出も行いました。自分たちのグループの枠を越え、広くAAの愛の手が行き届くための知恵を出し合いました。問題を抱えながらも、「まず、今できることから始めようヨ」を合言葉に!

フィナーレは寂しくも悲しくもある。が、飲まないで生きていさえすれば何時の日にか会えると思うと不思議と笑顔で、『バイバイ!また会おうぜ』と気楽に言っている自分に。

3日間、文句なしに時間を満喫させてもらいました。地元紙の朝刊は、明るく「元アル中の です」のタイトルで、福島県から老父母を伴い参加したという元患者は「会津生まれの私が仇敵の薩摩の人びとと会えるのもAAのおかげ」とラウンドの記事を載せ、AAを紹介してくれました。(記事の一部のみ紹介)

仲間は勿論、その他さまざまな方に手助けして戴きました。

本当に心より感謝いたします。皆さんに『ありがとう』です。

[参加者総数	301名]
1・医療関係	44名
2・行政関係	22名
3・家族、アラノン	36名
4・メンバー及び本人	199名

ぐるーぷ ー ぶり

AA神奈川地区 朋友グループ

日曜日の朝、雨の降りしきる中、仲間の手伝いで会場に近いところのコンビニエンス・ストアで、一人だけで機械に向かって“海風だより”のコピーを続けていました。

表紙には『AA神奈川12年の歩み.....11グループ、週に57回のミーティング』とありました。

会場に着いて一段落したところ（ハイパーパワーがじわじわと効いてきたんでしょう）仲間が、新しいグループが誕生してから、初めて来てくれたものですから、有頂天になり、当日のセミナーはどこへやら、アパートに帰るなり、手近にあった『今日一日だけ』と地図を張り合わせてミーティング案内図を作り上げ、セミナーの終りまじかに会場に届けたものです。その時は、最高の出来映えだなあーと自惚れていましたが、時間が経つうちに段々とお粗末さが見えてくるようになり、今は本当に恥ずかしいんです。

案内図で失敗した分を、ミーティング場の看板で取

り戻そうと頑張ったものですから、大変すばらしいものに本人は仕上げたつもりなのですが、これがまた、時間が経てば経つほど、病気の症状がまる見えのものにして.....。

でも12番目のグループです（縁起がいい）。

JR根岸線 磯子駅から歩くと10分位かな。

教会なんですけど、日本庭園に腰かけながらフェロ－シップができるような雰囲気もあり、すばらしいところですよ。

（一人でも多くの仲間に来ていただきたいのが本音です）

AA神奈川地区 朋友グループ

毎週金曜日クローズド・ミーティング

磯子カトリック教会 18:00~20:30

磯子区磯子3-8-14

AAポスター キャンペーン

昨年、関東サービス常任委員会広報委員会から発行され、またたく間に完売となったAAのポスター「不安はありませんか？」の配布先がまとまりました。このニューズレターでも以前、松井先生から御指摘のあった通り、メンバーが通常メッセージ活動を行っている『病院』に圧倒的に集中しています。しかし、少数ではあっても、警察や消防署、養育院等、これまでAAとしては（回復中のAAメンバーとしてはという意味です）ほとんど接触のなかった機関にも配布されたという事実は、一般的な分野へAAが画期的な第一歩を踏み出した証しだとも言えるでしょう。

そのわずかな歩みをより幅広く、より深く確実なものとするため、ここでもう一度「AAポスター・キャンペーン」を行い、新しい分野への開拓をしていきます。

ポスターへの反応ですが、実際にポスターだけを見て電話をして来た人の数はごくわずかです。これは新聞記事等の場合でも同様なのですが、そこに書かれた電話番号を書き留めておいて、それから何ヶ月か、あるいは何年かたって、やっと思い切ってダイヤルを回してきたという人の数も決して少なくはありません。

即効性はあまり期待できませんが、「誰かがどこかで助けを求めたら、必ずそこにAAの（愛の）手があ

るように」するためにも、あなたの身近なところにAAのポスターを！

ポスター 『不安はありませんか？』

200円 JSOにて販売中

関東近県で配られたポスターの配布先を多い順に並べました。

- ・病院・保健所・福祉事務所・市、区役所・教会・保健相談所・個人宅・グループ・コミュニティセンター・福祉センター・民生委員・福祉協議会・福祉相談室・クリニック・地域センター・警察・消防署・出張所・養育院

ビックブック

8月1日より200冊に限りディスカウント！！

3,500円 2,800円(〒310円)

AA日本ゼネラル・サービス・オフィス(JSO)

〒171東京都豊島区池袋2-23-3 橋ビル9F

TEL.03-590-5377 郵便振替 東京 8-68876

JSO住所表示変更のお知らせ

1989年8月14日より、JSOの住所表示が変更になりました。お手数ですがお手元の記録を訂正して戴けますようお願い申し上げます。

(場所は従来通りです)

池袋2-1083 池袋2丁目23番3号